令和３年１２月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質　問　者	日程
1	8	永　井　拓　三	１３日（月）
2	14	寺　口　友　彦	
3	10	吉　田　光　利	
4	16	鈴　木　　一	
5	4	目　黒　哲　也	
6	9	勝　又　貞　夫	
7	6	田　中　せつ子	１４日（火）
8	7	中　沢　道　夫	
9	19	桑　原　圭　美	
10	11	塩　川　裕　紀	
11	15	中　沢　一　博	
12	2	川　辺　きのい	１５日（水）
13	1	黒　岩　揺　光	
14	5	梅　沢　道　男	
15	13	佐　藤　　剛	
16	3	大　平　　剛	
計		１６名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式：　全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。（初回は登壇して行い、質問回数は３回まで。）

一問一答方式：　質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式：　一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

質問順位	質　問　内　容
1 議席 8 永井拓三 （一問一答方式）	**1　市のこれからの部活動について** 日本のスポーツ文化をこれまで支えてきた学校教育の中での部活動が、少子化や顧問教諭の長時間労働が問題視され、存続が危ぶまれている。今後は外部の指導者を招聘した活動へ移行することが公表されている。 そこで、市の学校での部活動の今後について問う。 （１）実施要領に沿って、計画どおりに進んでいるか。 （２）外部指導者の確保や、スポーツや文化活動の選定は進んでいるか。 （３）人件費等の予算はどのように確保していくか。 **2　市の公的な看板の維持管理について** 市がこれまで設置してきた看板などの老朽化が進んでいる。台風や雪害などで損壊し、道路や人への被害が出る可能性がある。設置した看板の維持管理について問う。 （１）看板の管理はどのように行ってきたか。 （２）今後、老朽化した看板等はどのように維持していくか。

質問順位	質　問　内　容
2 議席 14 寺口友彦 （一問一答方式）	**令和４年度予算編成方針について** （１）診療報酬、介護報酬が改定される中で、個人負担や保険料負担が増すと予想されるが、どのような対策を講じるのか。 （２）市の学区再編計画は少子化が加速する中で時代に合わなくなってきているが、新たな再編計画策定を始める考えはないのか。 （３）国道 17 号六日町バイパス延長 5.1 キロメートルのうち 2.5 キロメートルが供用開始されたが、新規供用された余川地区の都市計画策定と未着工部分の供用開始計画はどうなるのか。 （４）南魚沼市人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金を活用したイノベーション推進事業で、大学院大学国際大学に農業、観光業の経営学講座を開設してもらい、全国から頭脳を集めて市の後継者との交わりを持たせることを考えているか。 （５）ふるさと納税返礼品で需要が多い米・餅の中で雪室の宣伝効果が大きいが、雪資源利活用は雪室を重視したものにすべきと考えるが。

質問順位	質　問　内　容
3 議席 １０ 吉田光利 （一問一答方式）	**南魚沼市人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金活用について** 株式会社アルプス技研の創業者である当市出身の松井利夫様から、リゾートオフィス・田園都市構想の実現及びイノベーション人材育成を目的とした多額の指定寄附をいただき、チャレンジ支援事業をはじめ、ＪＲ六日町駅に事業創発拠点の設置等、着実に事業の推進を図っていることは理解しているところである。寄附者の意向に沿うためにも、コロナ禍をチャンスとした骨太の戦略と積極的な事業展開が必要と考える。 そこで市長の所見を伺う。 （１）南魚沼市チャレンジ支援事業の実績と今後の取組はどうか。 （２）事業創発拠点を利用した起業・創業支援策の具体的な構想を伺う。 （３）リゾートオフィス・田園都市構想について現状の取組はどうか。 （４）基金の有効的な活用は迅速な事業展開が必要と考えるが、寄附者の意向に沿った事業の取組がなされているか。

質問順位	質　問　内　容
4 議席 16 鈴木一 （一問一答方式）	**1　地場産材の普及について伺う** （1）南魚沼市の森林で伐期が来ている樹木は、森林面積の何割程度か。 （2）林業が生業として成り立つよう、市で調査・研究し、実施する考えは。 **2　ウィズコロナ、アフターコロナについて伺う** 飲食業などを営む人たちが、国・県・市からの給付金等に頼らず収入を得ていくことが事業を営む者のあるべき姿であり、そのように市民が行動していくことも必要と考える。 （1）以前の感染状況と比べて、現在の状況をどのように捉えているか。 （2）どの段階で収束と考えるか。 **3　次年度のリフォーム事業について伺う**

質問順位	質　問　内　容
5 議席 4 目黒哲也 （一問一答方式）	**1　道の駅「雪あかり」の今後の展開について** 道の駅「雪あかり」には、新型コロナウイルス感染症が拡大する前は、年間約 43 万人が訪れている。これは新潟県内 41 か所ある道の駅のうち、５位である。市の観光客動向をみると、近年、買い物や食を求める都市型観光が大きく伸びてきている。地元の特産品などの販売や郷土料理を提供している道の駅は、展開次第で今後大きく誘客が見込めるものと考えている。 そこで、以下の２点について市長の見解を伺う。 （１）道の駅は地域創生の拠点として期待できると考えるが、今後の展開は。 （２）道の駅は災害時の避難所や復旧支援の拠点としても期待できるが、防災機能の整備を進めたらどうか。 **2　障がい者向け住宅整備補助制度について** 豪雪地域である南魚沼市は、高床式住宅が多い。しかし事故や病気等で歩けなくなったときには、介助やホームエレベーター等に頼らないと自宅に入れなくなる。ホームエレベーターの設置には、高額の投資が必要になる。ほかにもトイレや浴槽等の改造も必要になってくることもある。 そこで雪国だからこそ、障がい者が住み慣れた自宅で生活するための住環境整備への支援を目的に、既存住宅の改造等に要する経費を補助する制度を市独自で制定すべきと考えるが市長の見解を伺う。

質問順位	質　問　内　容
6 議席 9 勝又貞夫 （一問一答方式）	**1　新型コロナウイルスの感染とワクチン接種について問う** （１）新型コロナウイルスの感染を判定する方法として、ＰＣＲ検査によるもので十分と考えているか。 （２）感染と発症の関係について、市はどのように認識しているか。 （３）ワクチンの効果と、その副反応について、市はどのように考えているか。 （４）市内で新型コロナウイルス感染症の患者が相次いで出るのは、何が原因と考えられるか。 （５）新型コロナウイルス感染拡大の第６波や、新規のオミクロン株について予想される対策はどのようなものか。 **2　行政の管理体制について問う** 行政の業務の管理体制は十分だと考えているか。様々なチェック機能は働いているか。欠けているところがあれば強化するべきだと思うが、市の考え方はどうか。

質問順位	質　問　内　容
7 議席 6 田中せつ子 （一問一答方式）	**1　保育施設や小中学校での安全対策について** 最近は、女性や高齢者、子どもなどの弱者が狙われる事件が多い。宮城県では保育施設に子どもを殺す目的で、刃物を持った男が侵入する事件があった。市でも小学校に刃物を持った不審者が侵入しようとしているという通報があり、子どもたちが体育館に避難する事件があった。日頃より子どもたちを守るための安全対策強化が重要と考える。 （１）事件の調査結果と、今後の安全対策はどのように進めているか。 （２）子どもたちへの安全教育と心のケアはどのように対応しているか。 **2　就学援助制度の拡充について** （１）スキー等の体育実技用具は領収書提出となっているが、定額支給やレンタル料を認めるなどの対応はできないか。 （２）他市町のようにクラブ活動費や卒業アルバム代にも支援を広げられないか。 **3　地域食堂とみんなの居場所づくりについて** コロナ禍で経済的支援だけでなく、人との交流が求められている。市内でも地域食堂や「子ども第三の居場所」づくりが動き始め、多くの市民が関心を寄せている。市としては、どのような支援と連携を進めようとしているのか。 **4　第４次南魚沼市男女共同参画基本計画策定について** （１）男女共同参画推進委員を公募したが、市民の委員２人だけで民意反映は十分か。 （２）国は地域女性活躍推進交付金につながりサポート型を追加した。今後は取り組むか。 （３）ＳＤＧｓの目標にあるジェンダー平等や、ジェンダー・ギャップ指数世界 120 位なども意識した基本計画とするか。 （４）第３次計画までの総括とコロナ禍の現状を踏まえて、新たに力を入れるポイントはあるか。

質問順位	質　問　内　容
8 議席 7 中沢道夫 （複合型一問一答方式）	**1　市立病院群等の今後の方向性について** （１）医師不足対策について伺う。 ①医師の絶対数が不足している中で、医師の大幅増員が必要ではないか伺う。 ②新潟県に認められている地域枠の拡大と、県外の医学部での医師養成の拡充を県に求めるべきではないか伺う。 ③研修プログラムの充実や市の魅力発信の取組で、市内で働いてくれる医師・研修医を増やす取組が必要ではないか伺う。 ④医師の絶対数が不足する中で、指定管理を依頼したとしても医師不足の解消は難しいと思うが、考えを伺う。 （２）魚沼医療圏域内の病床数と国保レセプトによる県外医療機関への入院状況について伺う。 ①圏域全体の病床数が、2025 年の必要数を下回っており、病床は不足していると思うが認識を伺う。 ②多くの患者が県外に流出しているが、理由を把握しているのか。把握していないなら実態を調べる必要があると思うが見解を伺う。 ③国保のデータだけでもこれだけの人数だが、他の保険や共済の実態を伺う。 ④県外流出前提の医療体制ではなく、幾つになっても住み慣れた地で、住み続けられる体制整備が必要だと思うが見解を伺う。 （３）全体として、病院経営の効率化や経営形態の見直しが前面に出ているが、市民の求めるニーズを把握して、医療体制を構築していくことが必要ではないか伺う。 **2　２０５０年カーボンニュートラルに向けた取組について** （１）「2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明する考えはないか伺う。 （２）地方自治体としての脱炭素に向けた「目標と計画」と、市内全域での「目標と計画」の策定を行う考えがないか伺う。

質問順位	質　問　内　容
9 議席 19 桑原圭美 （一問一答方式）	**教育活動と市内経済の循環に貢献できる体育施設の整備を** 大原運動公園はスポーツ施設として県内随一の整備状況を誇っているが、教育活動だけではなく、市内経済の循環を図るため、持続的に活用ができる環境整備を推進させる必要がある。 なかでも、テニスコートの整備状況はすばらしく、県総体だけではなく高校生のほとんどの大会が南魚沼市で開催されるようになっている。 しかし、ここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大による大会の規模縮小とテニスコートの芝の張替え作業などにより、長岡市での開催が増えている。 旧塩沢町時代の建設当時からの経緯もあり県内のテニス大会が大原運動公園で開催されているが、テニスコート以外の整備状況や交通の利便性などの理由で、他市が我が市に取って代わる動きもある。 県内テニス大会のメッカとして、また、スポーツを通じた教育と健康増進や、市内経済に貢献できる施設として、さらなる整備の充実を図るべきと考え、市の方針を問う。 （１）大原運動公園テニスコートの利用に関する実態を把握しているか。 ①人数・校数など大会の開催状況は。 ②人数・校数など合宿の実施状況は。 ③大会の開催、合宿の実施等による市内経済への貢献度は。 ④市内の愛好家や宿泊施設が不満なく利用できているか。 （２）今後の大原運動公園テニスコートの整備に対する考え方は。 ①かねてより課題となっている管理棟の建設を行うのか。 ②管理棟を建設する場合の予算確保や実施の見通しは。

質問順位	質　問　内　容
１０ 議席 １１ 塩川裕紀 （一問一答方式）	**高齢者運転免許証自主返納支援事業について** 連日のように全国各地で高齢者の自動車運転による死傷事故が報道されている。 そこで、市でも高齢者の運転免許証自主返納を促進していかなければならない。 市においても運転免許証返納後の支援を行っているが、生活の足を含めた今以上の支援が必要と考える。市の現状と市長の考えを伺う。

質問順位	質　問　内　容
１１ 議席 １５ 中沢一博 （一問一答方式）	**１　コロナ後の地方創生へ、デジタル化の積極的な推進を** 市民生活の向上や豊かさの実感につながるデジタル化をあらゆる分野で進めていく必要がある。 （１）市内の５Ｇの基盤整備は、どこまで進んでいるか。 （２）行政のデジタル化の基盤となるマイナンバーカードの普及促進の現状と、対策についてどのような措置を講じるのか。 （３）高齢者向けに無料のスマホ講習会の促進が必要と考えるが。 （４）コロナ禍の影響で低迷する地域経済に元気を取り戻すため、地域通貨の導入による地域活性化について、市長の考えを伺う。 **２　ＵＩターン促進に奨学金等返還支援補助金の創設について** 市の地域経済の活性化や人手不足の改善につながる若者支援策を進める必要がある。市内への定住などを条件に、市や就職先の企業が、奨学金を返済中、または返済予定の若者の貸与型奨学金を一部「肩代わり」する支援制度の取組が必要と考えるが、伺う。

質問順位	質　問　内　容
１２ 議席 ２ 川辺きのい （一問一答方式）	**１　移動販売車の復活と拡充について** （１）塩沢のＡコープの閉店とともに塩沢地域で運行されていた移動販売車「みのり号」がなくなり、復活を望む声が挙がっている。買い物弱者・難民に対する市長の考えを伺う。 （２）移動販売車が持つ機能や役割について市長の見解を伺う。 （３）市内の買い物弱者・難民の実態について、どのような調査を行っているのかを伺う。 **２　燃料費補助について** （１）原油価格の高騰が、市民の日々の暮らしと営業に大きな負担となっている。市として、影響についてどのように把握しているのかを伺う。 （２）市において、低所得者はもちろん、冬こそ稼ぎ時の産業をはじめ、病院や介護施設、学校や保育園などへの燃料費補助が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

質問順位	質　問　内　容
１３ 議席 1 黒岩揺光 （一問一答方式）	**１　新しい移住者を呼び込むために** （１）市の転出超過率、転出超過数が過去ワーストになったが、これについての分析は。 （２）過去５年間の転出者の移住先についてデータはあるか。 （３）昨年、市長は「移住者が４年で 200 人くらい」と発言したが、移住者数の算出方法と年間の推移は。 （４）遊戯施設を増設し、子育てに優しい街をＰＲして、出生率アップを目指し、さらには子育て世代の移住者を呼び込めないか。 **２　市民の政治離れについて** 市民の政治離れを食い止めるには、政治家が公約を守るか、実現できない場合はきちんと説明することが必要と考える。 （１）市長が５年前に公約された水道料金の基本料金 1,000 円値下げは、なぜ未達成なのか。 （２）水道料金が改定される方針とのことだが、なぜ、このタイミングで、いつから、どんな料金体系になるのか。 （３）昨年、市長は新ごみ処理施設の新しい建設予定地の早期選定を公約に掲げていたが、いつまでに選定するつもりなのか。 **３　安心安全の医療体制構築を** （１）「医師不足は解消された」となるのは、どんな状態なのか。 （２）市内の医療機関で５年以上勤務されている常勤医師数を把握しているか。 （３）市内の医療機関に寄せられている患者からの声をどの程度把握しているか。 （４）患者の声を今の医療の新しい方針にどう反映しているのか。 （５）パブリックコメントを実施する予定はあるか。 （６）ゆきぐに大和病院の移転先の３つの候補地は、どんな基準で選定したのか。

質問順位	質　問　内　容
１４ 議席 5 梅沢道男 （一問一答方式）	**１　ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けた計画的なＩＣＴ環境の整備を** （１）ＩＣＴ環境の整備を円滑に進めるためには、ＩＣＴ専属の指導主事の配置が必須と考えるが、今後の体制整備の方針について伺う。 （２）ＩＣＴ教育の推進には、１人１台端末の整備だけでなく、各教室への電子黒板の配置が必須となるが、今後の導入計画等について伺う。 （３）新型コロナウイルスの新たな変異ウイルス「オミクロン株」の世界的な拡大を受け、日本は全ての国を対象に、当面の間、新規入国を原則停止すると表明した。今後の感染拡大が懸念される中、端末の持ち帰り可能な体制の整備を急ぐ必要があるが、今後の計画について伺う。 **２　「医療のまちづくり」に関する基本的方針の策定経過について** 当市における「医療のまちづくり」は、令和２年９月 29 日の医療のまちづくり検討委員会の提言を基に進められ、令和３年５月 19 日に基本的方針が示されたが、以下について伺う。 （１）医療のまちづくり検討委員会の提言では「数十億円かかるゆきぐに大和病院の増床新築は現実的ではない」としているが、基本的方針では「移転改修」となっている。どのような議論と検討によってこのような基本的方針となったのか伺う。 （２）医療のまちづくり検討委員会の提言では「介護医療院も必要な施設だが、市民の介護保険料や自己負担を考えたとき、ほかの選択肢も考えるべき」としているが、基本的方針では、大和病院について「将来介護病床に転換できるようにゆったりしたスペースを確保することが必要」となっている。どのような議論と検討によってこのような基本的方針となったのか伺う。

質問順位	質　問　内　容
１５ 議席 １３ 佐藤　剛 （一問一答方式）	**市民の命と健康を守るための地域医療のビジョンとその実現について** （１）今こそ保健・医療・介護の連携強化で市民の安心安全の地域医療を目指す必要があるのではないか。 （２）今できる地域医療の充実のための取組について ①地域医療の充実のために病病連携、病診連携をどう進めたか。 ②在宅療養を可能にする医療連携をどう進めるか。 ③今後の地域医療の基盤となる「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組はどう進めているか。 （３）市民の命と健康を守るための地域医療実現に向けて、まずはビジョンを示して、確かな見通しと計画での必要な施策、それに伴う財源確保など順序立てた合意形成が必要ではないか。

質問順位	質　問　内　容
１６ 議席 ３ 大平剛 （一問一答方式）	**１　獣害対策について** 今年、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律の一部が改正され、対象鳥獣の捕獲等の強化、捕獲等をした対象鳥獣の適正な処理及び有効利用のための措置の拡充などがうたわれている。これを受けてどのような獣害対策を行うか市長の考えを伺う。 （１）最近の獣害の増加をみるに、捕獲等による頭数管理も必要だと考えるが。 （２）電気柵は獣害対策において有用であるが、補助を受けるための条件をクリアできないケースがある。もう少し条件を緩和した市独自の補助制度をつくる必要性があるのではないか。 （３）獣害対策として里山整備も重要であるが、整備が必要な山林には民有地も存在している。民有地を含めた里山の整備を今後どのように進めていくか。 **２　市職員の資格取得について** 現在、市は医療・福祉等の分野をはじめ、多様化する市民ニーズに対応することが求められている。そのためにも人材の育成・活用を図ることが必要であると考える。市職員の資格取得について市長の考えを伺う。 （１）資格取得に関して市はどのような取組を行っているか。 （２）市職員が職務の遂行に有用な資格・免許を部署ごとに把握しているか。